

デーリー東北

2026年(令和8年)7月11日(土曜日) (12)

八工大女子卓球部 初勝利に意欲



部員
全国大会に向けて意気込む男女の

男子部員と練習、技術磨く

全国経験豊富な男子部員も女子の成長を刺激にしており、副主将の虹川大翔さん(22)は「4年間はベスト8入りが目標。力を付けている女子に負けないように頑張る」と闘志を燃やす。

女子主将の鈴木柚菜さん(20)は「3年間は『和気あいあいとした雰囲気と自主性が強みのチーム』と話し、『前回一度も勝てなかった。今度はなんとか勝りたい』と2度目のインカレへ意気込む。

今春には、学生時代に全国大会優勝経験を持つ馬場昭子さん(55)が外部コーチに就任。助言を受けながら全体練習に励むほか、自主練習では男子部員を相手にラリーを重ね、技術を磨く。馬場さんは「女子は男子の力強いボールを、男子は女子の展開の速い卓球を体感できる」と男女が共に練習する利点を強調する。

女子卓球部は、長年にわたり男子チームを率いてきた蛭名昭人さん(61)を中心に、2024年4月に創部。現在の部員は13年の8人で、青森や山形、宮城の高校で実績を残してきた選手がそろそろ。

八戸
八戸工業大女子卓球部は創部間もないながら、男子部員と切磋琢磨して力を伸ばしている。15日に横浜市で開幕し、団体戦で争う全日本大学総合選手権(インカレ)には2年連続での出場が決定。選手たちは全国の舞台での初勝利を目標に掲げ、日々の練習に励んでいる。(千葉達也)

2年連続インカレ出場

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。